

実践『ペルソナ』通信 (No. 99)

「エコバッグ」に関する調査 Side-*Be*

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、女子大学生の「エコバッグ」についてアンケート調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を研究する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be*とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

総括

今回の調査結果から、エコバッグに関してはキャラクターがプリントされたものが一番多く、素材の種類に関しては布製のものやポリエステル系、メッシュ素材などの多種多様な素材がありました。そのなかでも、比較的コンパクトになりやすいポリエステル系の素材を利用したエコバッグが多いことがわかりました。女子大学生は使いやすさを重視した素材や柄、サイズのものを利用しており、ファッションの一部ではなく、エコバッグの「買った商品を入れる」という役割を果たすことが最も重要視されていることがわかりました。

調査結果のポイント

(1) 一番多かった種類はキャラクターがプリントされたもの

学生が最も使っているエコバッグの種類はキャラクターがプリントされたものであることがわかりました。そのキャラクターはディズニーやサンリオなど様々でした。

(2) 素材の種類は様々

布や麻、ポリエステルなど素材のバリエーションは様々で、特にポリエステル系の素材を使用している学生が多いことがわかりました。デザイン性よりも防水性や軽さなどの機能を持ち合わせていることが人気の理由であるのではないかと考えられます。

(3) コンパクトになるエコバッグが多い

学生の多くは、コンパクトになるエコバッグを使用している傾向にあるということがわかりました。(2)の結果でもわかったポリエステル系の素材は、畳んでもかさばらずコンパクトになるため、小さなバッグに入れたとしても邪魔にならず、持ち運びやすいことが利用状況に影響しているのではないかと考えられます。

(4) 流行りの柄や素材よりも使いやすさを重視している

長年に渡って使いやすく、世代や流行りを気にすることのないものが選ばれていることがわかりました。一人暮らしの学生もいましたが、エコバッグは家族と共有している人が多いためだと考えられます。

(5) 大きめのサイズが多い

学生は大中小様々なサイズのエコバッグを持っていることがわかりました。特に大きめのバッグを持っている人が多く、エコバッグをメインのバッグとして利用している人もいるのではないかと考えられます。

(6) 手作りエコバッグの利用者もいる

A 面の調査では手作りのエコバッグを利用している人はいませんでしたが、今回の調査においては一人ではありますが、手作りのバッグを利用している人もいました。手作りは手間のかかる分、自身の好みのデザインや容量を再現することができるため、使い勝手が良いのではないかと予想されます。

(7) エコバッグは服装に支障をきたさない

様々な柄や素材が見受けられるエコバッグですが、どのような種類でも服装に自然となじんでおり違和感がありませんでした。エコバッグは、普段利用するリュックやショルダーバッグとは違い「買った商品を入れる」という一時的で明確な役割があるため、服装に影響しないと考察できます。

調査概要

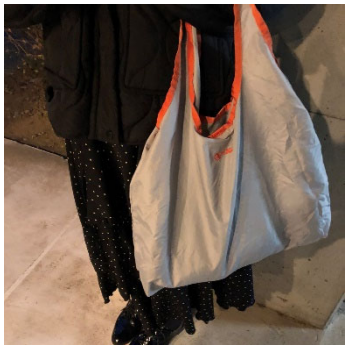
- 調査対象：実践女子大生（全学年、全学部）
- 調査方法：スノーボールサンプリングによる対象者の写真提供
- 調査期間：2020年12月
- 調査場所：ウェブ

調査担当者

実践『ペルソナ』研究会 金森彩、立石朋子、原知奈美、松浦彩里

写真

【無地】



【柄】





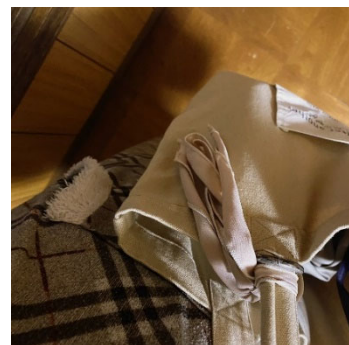
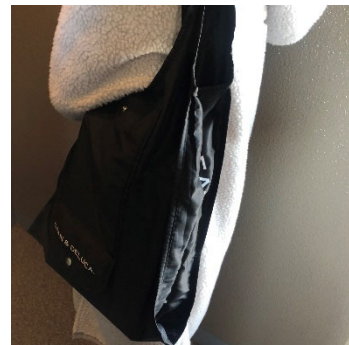
【キャラクター】



【文字（全面に文字がプリントされているもの）】



【文字（一部分に文字がプリントされているもの）】





【ショッパー】



【手作り】



調査後記

今回の調査を通じて、様々な種類のエコバッグを利用する人が多いことがわかりました。前期に引き続き、新型コロナウイルスの影響で学校に赴くことができませんでした。そのため、直接調査することができず、写真を集めるのに少々苦労しました。今後機会があれば、実際にフィールドワークでの調査を行いより多くのサンプルを集めたいと思います。

今回学んだ経験を今後に生かし、より良い調査と分析ができるよう精進します。改めて調査にご協力いただいた方々に感謝申し上げます。